

ツアー記録 小笠原諸島 大自然探訪 7日間

2017年3月24日（金）～3月30日（木）

3月24日 新千歳→羽田→都内 雪/晴れ

新千歳空港からお客様3名と添乗員で出発。雪の影響と新千歳方面へのJRが人身事故のため一時運休となっていたが、無事定刻通り出発。羽田空港から都内ホテルへ移動。明日に備えます。

3月25日 都内→竹芝棧橋～～ 曇り

外は明るいですが、雲の多い空。朝食後に竹芝客船ターミナルへ。ここで東京発のお客様と合流し、乗船を開始する。この航海で船には600人超が乗っており、これは小笠原の人口の25%近くにもなる。小笠原は現在、水不足となっており、ダムの貯水率が返還後2番目の少なさらしい。しかし、ツアーでは雨降ってほしくないのが正直な気持ちである。

11時に新おがさわら丸が出港。1日かけての航海となります。波も2～3m程度と高くないためそれほど揺れておらず、快適に過ごせそうです。船内にはレストランや売店、展望ラウンジ、シャワー室などもあるため不自由なく過ごすことができます。

曇っていたため、残念ながら景色を楽しむことはできませんでした。そんな時でも船内では、「小笠原をより楽しむためのレクチャー」をレストランで行っています。実際に小笠原でガイドをしている方が様々なお話をしてくださいます。



新おがさわら丸



東京湾を抜け沖合へ



船内レストラン

3月26日 ～～父島・二見港～南島～父島 晴れ

早朝は曇っていたため、残念ながら日の出を見ることはできず。父島に近づくにつれて、まず初めに、聳島列島の北ノ島が見えてきます。あと2時間ほどで到着です。

ついに小笠原諸島・父島に到着！まず昼食をとりに出かけます。島寿司や亀のお肉、サメバーガーなどでお腹を満たし、本日のメインイベント、「パノラマボートツアー」へ！小笠原の海には10月からGW頃の間でザトウクジラが繁殖のため訪れます。そのため多くの親子クジラを観察することが出来ます。またこのツアーでは、南島という天然記念物、新東京百景に指定されている無人島も訪れます。今日は天気も良く、波も穏やかです。ラッキー！！

出港してほんの10分程です。船長が「11時方向～」というと大きな黒い背中が水中からゆっく

りと上がってきました。と、次の瞬間「プシュ——」とブローをし。潜って行きます。群れで現れたため、一頭が出てきたかと思えば、次々とクジラが現れます。声を上げずにはられません。「おお〜！」という歓声とともに巨体をあらわにするクジラ。少なからず感動をおぼえます。

そしていよいよ南島への上陸です。自然環境を守るため、また安全のために様々な上陸制限があります。そんなこの島には素晴らしい自然環境・景色が広がっています。是非ご自身の目で確かめてほしい場所です！

雲行きが怪しくなってきたので港へと戻っていきます。帰りもクジラの親子がすぐ近くに来てくれました。子はブローがまだぎこちなく、親が横で見守るように海面近くを漂っていました。宿に戻って休憩した後は小笠原の海の幸、盛りだくさんの夕食を頂きました。カンパチの煮つけが美味。そして辺りが暗くなってきたら父島ナイトツアーへ向かいます。満天の星空、様々な固有の生き物。小笠原ならではの楽しみをしっかりと満喫できました。



間近で見られるザトウクジラ



南島の扇池



天然記念物オカヤドカリ

3月27日 父島ジャングルトレッキング 雨/曇り 歩程約6時間半

今日は千尋岩（通称ハートロック）まで行くトレッキングツアーです。ハートロックとは、海から見ると露出した赤土がハート型に見え、まるで父島から母島に愛を送っているように見える場所です。昨夜から風が強いのですが、気温が高いので寒くはありません。

「ボニブルーシマ」島田さんとともにスタート地点に向かいます。いざスタートしようと車の外に出ると、突然の雨！風も相まって、まるで台風の中にいるようでした。しかし、5分もすると雨も止み無事にスタートです。多種多様な植物や自然地形、島の歴史についてガイドを受けながら進んでいきます。所々、人が住んでいた形跡や軍が利用していたものの残骸があり、当時の様子が浮かび上がってきました。そして3時間ほどでついに、ハートロック到着です。ちょうど風も弱まり、太陽が顔を出しました。歓迎されているみたいですよ笑 真っ赤な土や岩が露出しており、眼前には美しい海が広がっていました。そろそろ行きましようか、というタイミングで再び風が出てきます。ある意味ナイスタイミングです。帰りは行きと違う道を通っていくのも面白いところです。さらに、とてもワクワクしてしまうような‘秘密’の場所にも……是非ご参加を！！



不思議な森を歩きます



千尋岩からの眺め



固有種シマウツボ

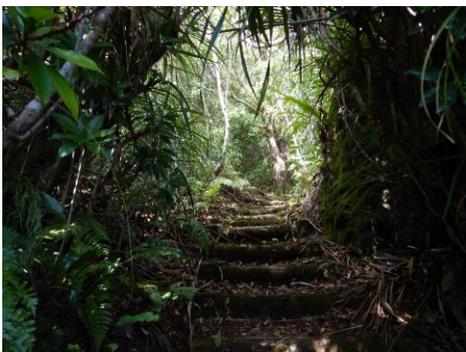
3月28日 父島～～母島・・・乳房山 曇り/晴れ 歩程約4時間

昨日からの風の影響で、ははじま丸の運航時間変更。さらに、引き返すかもという条件付きです。ですが、11時発ということでなんとか小笠原最高峰の乳房山は登れそうです。

13時10分、ほぼ定刻通りに母島に到着です。宿の方に荷物を預け、そのまま登山口へ向かいます。登山道は落ち葉だらけ。慎重に歩かないと滑ってしまうようなツルツルした葉が一面に落ちています。昨日のジャングルトレッキングとは違い、景色の見えるひらけた場所もあるので良い気分転換になります。途中の木には野鳥のための水場が設置してあり、オガサワラヒヨドリやメジロ、ハハジマメグロが集まって水浴びをしていました。歩を進めると、ガジュマルゾーンがあったり、爆撃の跡があったり、梯子を登ったりと楽しい道です。山頂に近づくにつれて道が狭くなり、木のトンネルを進んで行く感覚です。

登り始めて2時間で山頂に到着！10名ほどでギュウギュウになってしまいそうな広さでした。さすが最高峰というだけあって、遠くまで見渡すことができます。さて、登ったということは、下りなければいけません。乳房山は周回コースになっており、登りとは違う道で下ることが出来ます。ということで反対側の道を下っていきます。しばらくは尾根道、木道が続きます。なんだか山頂よりもこっちのほうが良い景色なんじゃないか？と思いつつ、楽しく下って行きます。こちらは少し距離が長いものの、「同じ道より違う道でしょ！」と順調に進みました。こちらの道も落ち葉が多く、最後の方には「落ち葉ラッセル」を行うほどでした。

無事に下山し、宿にて小笠原での最後の夕食。会話も弾み、お酒も進みます。さすがに今日は疲れたので、早めの就寝です。



木のトンネルを進みます



乳房山山頂



南側の眺望

3月29日 母島～～父島～～ 晴れ

鳥のさえずりが優しくきこえてくる朝。朝食後にお客様は島内観光へ。現地ガイドの車で2時間半の観光です。母島は端から端まで行っても車で30分程ですので色々な場所を周ることが出来ます。しかし、ゆっくり歩いてみようかな？という方も、港の周りで十分楽しむことができます。ちょっとしたウォーキングコースになっている鮫が崎展望台やネムリブカが集まる脇浜。少し歩くと、郷土資料館となっているローズ記念館や静沢の森遊歩道などもあります。余裕のある方は小剣先山に登ってみるのも良いでしょう。

時間が経つのはあっという間です。ははじま丸に乗り父島へ向かいます。転勤や異動シーズンということもあり、港では盛大にお見送りがありました。それは父島でも同じで、新おがさわら丸の出港の時、こんなにも盛大に見送られるのは初めてというくらいの壮観です。ギリギリまで船で追走し手を振る姿をみていると、「また来ようかな」と感じてしまいます。



和太鼓での見送り



岩壁のギリギリまで



船の追走

3月30日 ～～竹芝栈橋—羽田→新千歳 晴れ/雪

帰りの長い船旅も終え、東京に到着です。15℃程あったので、小笠原から戻ったからといってもそこまで寒く感じません。しかし！千歳はなんと雪！新千歳行きの飛行機は条件付きのフライトということでした。ですが、ははじま丸に続き飛行機も無事に着陸。一安心です。外を見てみると予想を超えるくらいの雪が降っていました。昨日まで20℃のところになっていたのがウソみたいですね。

今回は運を味方につけていたツアーだったように感じます。見たいと思っていたものをみることができ、やりたいと思っていたことも出来ました。

今回、御参加頂いた皆様、ありがとうございました。またのご参加をお待ちしております！

また、少しでもご興味を持って頂けた方は株式会社ノマドまで、どうぞお気軽にご連絡ください。

